

△産業宣教 みことば成就の中にある産業	△レムナント伝道学 レムナントの夜の時間(詩 17:3)	△核心 正確な契約の中にいる者たち(使 1:3)	△散らされた弟子たち 237 弟子を立てること(使 1:8)
□序論 みことば 1. 創 1:1-3 創造のみことば ヨハ 1:1-11、12 みことばが神様。みことばが光として来られたイエス・キリストを受け入れれば神の子どもの権威 ヨハ 1:14 人のからだを着て来られた神様 ヘブ 4:12 生きて力があるみことば 2. Trinity 1) みことば 神様はみことばで働かれ 2) 救い 御子なる神様は救いで働かれ 3) 力 聖霊なる神様は力で働かれ 3. どのように働かれるのか 1) 創 1:27、2:7 このみことばが私の中に臨むとき働き 2) 創 3、6、11 みことばが私に臨んでこそ 3 つの事件が崩れる 3) 237 の力が来る。 □本論 三つの流れに乗るべき 毎日のみことばの流れ、全体の流れ、未来の流れが見える。 1. 創 13:14-18 アブラハムが神様のみことばと力の流れに乗って祭壇を築き始め 創 14:14-20(十分の一)メルキゼデクに十分の一をささげる 創 26:10-24 イサクにレホボテの祝福が来る。 世界宣教アブラハムとイサクが世界宣教を悟った。すべて回復 2. 福音を理解できず奴隷になった 1) 出 3:1-18 福音回復をしたモーセ。重要な流れを見たイテロ 2) ヨシ 2:1-16 遊女ラハブが流れを見た 3. 戦争(エッサイ) 1) 詩 78:70-72 重要な財産である羊飼いをダビデに任せた。 2) I サム 16:1-13 サムエルがダビデに油を注ぐように、戦場に送ってしるしを持って来るように 3) I 歴 29:10-14 神殿建築の準備をする働きがエッサイを通して起こった 4. 偶像時代 1) I 列 18:1-15 契約を握ったオバデヤ 2) I 列 19:19-21 エリシャという人物を発見 3) II 列 6:8-24 ドタンの町運動 オバデヤ 偶像時代に重職者オバデヤ 1 人が与えた影響 5. 捕虜-ダニエル、三人の同僚、エステルのような人物が正確な福音を持って決断 6. ローマ属国 1) ロマ 16:3-4 プリスカ夫婦 2) ロマ 16:23 ガイオ 3) ロマ 16:25-27 世々にわたって長い間隠されていたことを今、現わされること □結論 1. 講壇-重要な答えが出てくる。 2. 週間集会 講壇メッセージを握って週間集会メッセージを見なさい 3. 土曜核心 土曜核心でまとめ 4. 祈りの手帳 毎日重要な答えを祈りの手帳に記録 △このときから 5 力が生じて、この祝福をいつも味わうとき、未来が見える。	ダビデが夜に祈ることを語った。夜の時間は私たちの霊的状态だ。レムナントのとき覚えることができれば、夜の時間を思い通りにできない。 □本論 1. 短い時間でも祈り集中(詩 17:3) 1) 夜に主が私の心を調べ、 2) 問いただされ 3) 私の決心(心がけ)を聞かれる 2. 未来集中 1) 創 37:1-11 兄がしきりに困らせたので祈って受けた答えだ。 2) 出 2:1-10 幼いモーセが母とともに受けたメッセージと祈りだ。 3) I サム 3:1-18、19 未来を見て祈りは一言も地に落ちなかった。 4) I サム 16:1-13 牧場で祈ってサムエルに会い、王になることを聞く 5) II 列 2:9-11 未来を知って霊の二つの分け前をくださいと言った。 6) ダニ 1:8-9 未来を分かっただで心を定めた。 7) II テモ 4:1-5 伝道者の成功の基準は福音を受けた人が多く生まれることだ。 3. 学業集中 1) 賛美、祈り-羊飼いであった時 2) 詩-詩篇の 3 分の 1 をダビデが書いた。 3) 技能(学業)-技能、学業を育てたのだ。 □結論 1. 朝、短く力を得る祈り 2. 昼にはすべてを受容・超越して答えを見つける常時祈り 3. 夜には私の人生をセッティングする集中祈り	私たちは正確な契約の中にある祈りを始めなければならない。正確な契約の中にいれば無条件に答えを受ける。 □序論 いつもハンドブックのように、いつでも祈ることができることを握っていなければならない。 1. 霊的病気から解放 2. 貧しさから解放 3. 無能(能力がない教会)から解放されなければならない。 □本論 運動、歩き、呼吸してキリストが与えられたことを持って祈り 2. 答えておられることを祈り(40 日) 3・9・3 1) Trinity -創造のみことば、救い、力で働かれる三位一体の神様 2) Throne-御座の力が、祈るとき私に臨めば神の国、そのときから時空超越、237 になって、この祝福が私のいのち、私のたましい、私の生活の中に臨む。すると、空前絶後の答えが来て、私、教会、産業が生かされる。 3) 3Ages-過去が土台になって、今日がその時刻表になって、未来は保証されたのだ。 15 個の祝福が私に臨むように、息を吸って祈り、息を吐いて思い出す所、行くべき所、すべきことに伝達 1. キリストが与えられたミッション -カルバリの丘 オリーブ山 マルコの屋上の間 1) 神の国のことを祈りで味わうこと。すべての所に行ってみれば神の国のこととが臨んでいて、礼拝をささげに行くときは、神の国のことが成り立つ答えを見つけて来る 2) ただ-他のことでは世界福音化できず、私を霊的病気から解放させることはできない。 3) 地の果て-この祝福が永遠であるため 4) 私の 237 5) 祈りの力が現れる裏面契約-生きるべき理由、ここにいる理由、教会献身する理由 6) 確実な未来に対する契約 7) 背景が御座だ。再臨主として来られるその方とともに味わうこと △朝に目を開けば続けて呼吸で祈る。昼には続けて確認して、すべて答えとして見えるために、とても感謝。夜には答えを握って集中祈りに入るのだ。祈る人は現実を見る目が違う。祈らない人は答えがきても分からない。 3. 神様が成就されるみことばの中にいなければならない。 1) 詩 103:20-22 主の御使いと天の軍勢を送って神様の計画を成し遂げられる。 2) 使 1:11 白い服を着た人々 3) 使 27:24 主の御使いを送って悟りを与えられ、道を開いてくださって力を与えられる。 □結論 このとき 1. 暗闇が縛られる。 2. 味わい-どこにいても大丈夫で、常に祈りが出てくる 24・25・00 3. 答え- OURS	□序論 真の弟子 1 人に会えば 1. 3・9・3 - 15 の答えが来る。 2. そのときから光の経済回復 3. 次世代を通して光の文化が起こる。 □本論 証拠 1. イエス様の復活メッセージ 1) マタ 28:16-20 (弟子)「あなたがたは行ってあらゆる国の人々を弟子としなさい」 2) マコ 16:15-20 (癒やし)「わたしの名で悪霊を追い出して、病んだ者に手を置けば癒やされる」 3) 使 1:8 (地の果て)「地の果てまで行く力を与える」 2. この契約がマルコの屋上の間教会で成就 1) 使 2:9-11 15 か国の真の弟子が待っている。 2) 使 3:1-12 足の不自由な者を立て起こしたこと 3) 使 8:4-8 霊的な病気を持っている人を癒やす働き 4) 使 9:15 福音を防ぐ敵を働き人として呼ばれる 5) 使 10:1-45 全世界の門が開くことを見なさい。コルネリオ 6) 使 11:19 世界宣教の門を開けるアンティオキア教会 7) 使 12:1-25 最も福音を防ぐヘロデ王を、その日呼んで行く 3. パウロの宣教 1) パウロはいつも聖霊導きを優先 2) 不治の病の癒やし 3) 会堂 □結論 パリサイ教会ただ福音だけ知らないこと マルコの屋上の間教会何の力もないように見えるが福音を持っていた。その差だ。

△区域メッセージ (第 20 週) 神様の力と 25 の答え (使 1:8)	△聖日 1 部礼拝 良い知らせを伝える人たちの足は美しい (ロマ 10:11-15)	△聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝 ご自分の民を退けない神様 (ロマ 11:1-7)
神様の力が私に臨んだことを指して聖霊の満たしと言う。私たちは 24 時間を持っているが、その後に 25 の答えが来る。聖霊の満たしをどのように受けるのかより、さらに重要なのは、私に聖霊の満たしが必要だということを知ることを悟ることだ。 □序論 <u>ただ</u> <u>ネフィリム満たし</u> <u>聖霊満たし</u> 地の果て-証人←力を受けて △今、二つの戦いだ。ネフィリム満たしか、聖霊の満たしか、この人々が世界を掌握している。礼拝をささげるとき、聖霊に満たされるが、背を向けるなら違う。関心が他のところにある。今日一日中「聖霊の満たしを与えてください」この祈りだけでも、六日間に多くの変化が起こる。イエス様が、力を受ければ私の産業が地の果てまで証人になると言われた。 □本論 - 三つ-聖霊の働きは三つで現れる。 - 聖霊内住-私の中に聖霊がおられることだ。 - 聖霊導き-聖霊が私たちを導かれる。 - 聖霊の満たし-私の生活、学業に現れる。 - 土台-聖霊の働きは、これが土台にならなければならない。 - 実際の答え(力)-多くの学業、産業をすべてしなければならないが、実際の答えの土台にならなければならない。 - 霊的問題の解決-この力を持っていれば霊的問題が解決される。 - 生かす人-行く所で人を生かすようになる。 - 体験-私たちは毎日これを体験するのだ。 - 個人の答え-この祈りを継続すれば個人の答えが出てくる。 - 個人祈り体験-個人祈りを体験するようになる。 - ただ・唯一性・再創造-産業に、学業にただ、誰も奪っていくことができない唯一性、人を生かす再創造の答えが来る。 □結論 <u>3・9・3</u> 私たちの生活と産業は、御座の祝福以前に三位一体の神様の力の働きと御座の祝福と時代を生かすことだ。 - プラットフォーム-この祝福が個人に学業に産業にあるからプラットフォームになる。 - 見張り台-多くの人を生かす光を照らす見張り台となる。 - アンテナ-神様の力の中にいれば全世界と通じるアンテナとなる。 黙 8:3-5 答えが来ないことはない。すべて器に、神様の御座の祭壇に入れられる。 ダニ 10:10-20 私たちが祈る時間に神様が主の御使い、御使いの長を送られ神様の働きを成し遂げておられる。これを信じないから、毎日、肉的に生きて、ある日問題が来る。なぜ問題が来たのかも分からない。	□序論_祈りの答えがなくて困難と葛藤の中にいる理由 - 福音を正確に知らなくて味わうことができないこと (ロマ 9:1-3、10:1-4) - 福音を正確に 1) 知って味わえば、天地開闢の働き-奴隷として行って、総理となったヨセフ、羊飼いであったのに王になったダビデ、難しい現場で人を生かすこと 2) 悟れなかった結果-奴隷、捕虜、属国、流浪の民になったイスラエル、福音を逃した中世時代に押し迫った戦争、滅亡、わざわい、伝道者を異端にしたこと 3) キリストは暗闇の勢力を打ちこわす王、神様に会う道、わざわいをなくした祭司 - 福音を知る者は毎日驚くことが起こる。今という問題と今日にだまされてはならない。 1) ヨセフ-奴隷に行ったのではなく、エジプトへ行く中、奴隷生活で最高の答えを、監獄に行ったのではなく成功の道 2) ダビデ-死の中で迷う時間が、一番辛くて最高の王として準備させる時間 3) パウロ-牢に閉じ込められたことは、上告してカエサル前に立つことができるチャンス □本論_福音を本当に分かれれば来る三つの答え - 過去の問題を完全に解決。運命がひっくり返る。 1) 主の御名を呼び求める者は救われる-創 3、6、11 から抜け出すこと 2) 今日、皆さんの問題の中で最も大きい祝福と答えを訪ねて行くことが福音を味わうこと 3) 良い知らせを伝える者の足は-誰も知らず関心もないため - 時空超越する神様の答えの始まり、天地開闢が起こる 1) 三位一体の神様が創造のみことばと救い、力で 2) 時空超越、空前絶後の力、御座の力で 3) 皆さんの小さい信仰一つで次世代と家系、ローマを生かす - この福音を握って今日味わえば未来が保証 1) 二つの未来-死の道、神様の道 (箴 14:12、エレ 33:3) 2) 保証された未来-「ただ」聖霊が臨めば力を受けて地の果てまで証人となること 3) 背景-御座の力と神の国と神の国のこと 4) 良い知らせを伝える者の足は-主の御名を呼び求める者は救われるため □結論_良い知らせを伝える者の足は (13-15 節) 1. 現場 70 人弟子を生かすまことのタラップを祈ってみなさい。 2. 237 のやぐらを建てなさい。次世代と全世界の弟子が見て悟るように 3. 今日の答えを見つけないさい。神様が未来を準備しておかれたので、心配してはならない。あなたが知らない理解を超えた大いなることを、あなたに告げよう。	<u>主日</u>に礼拝をささげて答えを得るようになる。朝に準備して賛美、運動、呼吸で祈り続ける。朝に前の週にあった<u>集会</u>メッセージ一つを聞いてみれば良い。土曜日には、<u>核心</u>を聞いて大きい財産だと考えて<u>祈りの手帳</u>に記録しておきなさい。現場に行けば<u>確認</u>が必要だ。<u>聖日</u>礼拝に行く時は<u>答え</u>を持って行くのだ。<u>問題</u>が生じたり、<u>重要</u>なことが起こったとき、<u>病氣</u>になったとき-集中祈り 神殿建築-私の人生の答えを置いて祈り □序論_不信仰から崩すべき <u>3・6・11、13・16・19、6 状態</u>-私中心、私のこと (ネフィリム)、私の成功 (バベルの塔)、目に見えるシャーマン、占い、偶像、未信者 6 つの状態に陥らせる。 1. イスラエルの不信仰 (ロマ 10:16) -イザヤのメッセージを聞いても信じなかったイスラエル 2. 次世代のわざわい止めるために不信仰を捨てて契約を握りなさい。 3. 流浪民族になったイスラエルーをのときごとに起きたことが<u>神殿破壊</u> □本論_三つを回復する建築 △ただイエス・キリストで世界を生かすことができる。すべての回復することができる。次世代に無能、貧しさ、病気を譲り渡すことはできない 1. 幕屋運動 1) 三つの祭り-羊の血を塗る日に解放された過越祭、私たちの背景は御座、収穫祭。その間の今日が五旬節 2) 至聖所の中の契約(箱) -神様のみことばが入っている。 3) 手を洗う洗盤、燭台、24 光、パン、すべての道具に油を塗ったこと -生かすキリスト 2. 神殿運動 1) キリストを逃すと第 1、2、3 神殿を与えられた 2) 三つの庭 3) 237・癒やし・サミットを準備しなさい。 3. 教会運動 1) 3・9・3 (15 の答え) -三位一体の神様が創造、救い、聖霊の力で働き。御座の力が私に臨むことが神の国、世界を生かす時空超越と 237、私のいのち、たましい、生活の中に体験が来始める。空前絶後の答えが来る。過去は土台、今日この御座を味わう時刻表、未来は保証されている。 2) ミッション- 40 日間神の国のこと、方法はただ、目標は地の果て、私の地の果てである 237、このとき出てくる私の裏面契約、世界福音化の未来、最後の背景まで準備された。 3) 使 2:1-47 この契約を持って集い→マルコの屋上の間の答え 使 11:19-30 迫害-アンテオケ教会の答え ロマ 16:25-27 ローマを生かす世界福音化の主役 □結論 1. 地域を生かすやぐらを建てなさい。熱心にせずに<u>絶対</u>的なことをしろ 2. 産業にやぐらを建てなさい。 3. 世界やぐら-重職者を立てるとき、<u>国</u>を一つ決めて <u>RTI</u> 人、<u>次世代</u>をつけてあげなさい。一生の資料を入れなさい。